

平成30年第1回定例会一般質問要旨

◎三田議員

1. 子ども達が夢を持って成長していくための今後の教育について

平成30年度の教育行政推進方針の教育目標の中でも、『自ら学び ともに磨き合い 広い心と 生きがいをもち ふるさとを愛する たくましいサロマ人』を目指すとあります。学校教育からの支援と、社会教育からの支援、また今後導入予定のコミュニティスクール(学校運営協議会制度)において、地域の力を借りながら、この佐呂間で育ってよかったと子ども達が夢を持つる力の支援をしていく必要があると思います。

昨年よりICT教育環境整備事業を行っている中学校を視察しましたが、今後の社会状況を考えると環境の整備は必要なものだと感じ、また生徒も機器を使いこなしていました。

しかし、ICTの進歩に伴い、子ども達の直接的なコミュニケーションが少なくなり、少し不安も感じたところです。様々な学校、地域などで力を合わせてやれること、小中高の学校間連携など、今後どのように具体的に行っていくのか伺います。

また、児童、生徒に対していじめなどのアンケートや、心の悩みなどの相談などをどのように行っているのか伺います。

平成30年第1回定例会一般質問要旨

◎小松議員

1. 交通死亡事故の現場（武士）の道路検証診断結果と町の対策について

- ①1月15日に道路を管理するオホーツク総合振興局、遠軽警察署、町との間で道路検証が行われたとの1月16日付新聞報道がありましたが、検証の結果がどのような内容であったのかを伺います。
- ②平成27年12月に発生した死亡事故の現場も同じ場所であり、新聞報道では当時の事故後に、オホーツク総合振興局が注意を促す標識を設置するなどの対策をした旨の記事がありましたが、今後どのような対策を要請していくのか伺います。
- ③町として、独自の事故注意対策を実施する考えはあるのか伺います。

2. 老人福祉施設等の介護職員不足の状況と今後の対策について

- ①昨年6月の第2回定例会での一般質問以降の、介護職員の雇用状況について伺います。
- ②今後の介護職員雇用に向けた対策をどのように考え、また入居者や待機者のニーズにどう応えていくのか伺います。

平成30年第1回定例会一般質問要旨

◎高橋議員

1. 空き家対策について

人口減少の続く現在の社会では、世帯数の増加も止まり、転居・住居の新築などに伴い空き家が発生し、ここ佐呂間でも同様に空き家が存在・増加しているのが現状と思われます。平成26年には国により「空家等対策の推進に関する特別措置法」が制定され、廃屋化した“特定空家”の取扱いについて、自治体が踏み込んだ対応をとることを可能としています。そのことを踏まえ、ここ佐呂間町においても何らかの空き家への対策が必要と考え、数年前にも同様の質問がありましたが、それからの進捗も含め数点質問します。

- ①佐呂間町の空き家の件数、そのうち“特定空家”に該当するもの、悪条件により一部損壊の恐れがあるもの、所有者不明、所有者と音信不通のものなど、現在の空き家の概況について、どの程度把握しているのか伺います。
- ②所有者不明、所有者と音信不通の空き家など、所有者管理の対策、及び今後の方針などについて伺います。
- ③他の自治体では「空き家バンク」など、地域住民と上手に情報連携して、転居・移住希望者などに対して空き家を有効に利活用している例もありますが、そのような利活用に対しての考えを伺います。
- ④空き家所有者の中には、解体とりこわしを望んでいるが費用の捻出に苦労している方もいると思われることから、近隣自治体でもあるように解体費用の助成などの施策に対しての考えを伺います。

平成30年第1回定例会一般質問要旨

◎但木議員

1. 平成30年度町政執行方針について

町政執行方針の福祉施策において、高齢者福祉の項目では、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、まちづくりに取り組んでいくとありますが、近年高齢者の免許証自主返納ということも増えている中、住民の足となる公共交通機関も含めて考えていく時がきていると考えますが、町長の考えを伺います。

2. 介護保険事業について

第7期介護保険事業に向け、介護保険準備基金を取り崩し、保険料引き上げを200円に抑えたとのことですが、今後更なる引き上げとならないよう、保険料確保のため基準額と区分段階の見直しを行う考えはあるのか伺います。